

Press Release

2024年9月20日

大型現代アート作品の収蔵庫・MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) が開館 10 周年 10 周年を祝う 10 日間。1 日限定スペシャルパフォーマンス&トークも開催

Open Storage 2024 -祝う収蔵庫- MASK 10th Anniversary

一般財団法人おおさか創造千島財団（所在地：大阪市住之江区）は、約 1,000m²の元鋼材加工工場・倉庫を活用した「MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」で保管する大型現代アート作品の一般公開「Open Storage 2024 -祝う収蔵庫- MASK 10th Anniversary」を、2024年10月18日（金）から11月4日（月・休）までの10日間開催します。11月2日（土）はMASK開館10周年を記念した「10th Anniversary Special Program」を開催。参加アーティストが一同に会する貴重なトークの後は、一夜限りのスペシャルな祝祭空間で、収蔵作品を舞台にアーティストがプロデュースするパフォーマンスを披露します。観客、アーティスト、パフォーマーが共に祝い楽しむ時間をぜひ体験してください。



開館 10 周年を祝う

大型アート作品は、広い制作場所の確保が難しく、作品の規模を縮小せざるを得ない、また会期終了後の保管場所の確保が難しいため、作品の解体や廃棄を余儀なくされるといった、アーティストが直面する課題があります。当財団は、その状況に一石を投じるべく、2012年より工場・倉庫跡を大型アート作品の収蔵庫として活用するプロジェクト MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) を始動。2014年に MASK を開館しました。開館から10年、現在では7名のアーティストの大型作品を無償で保管し、収蔵作品の一般公開「Open Storage」を毎年行っています。

本年は、10日間に会期を拡大して収蔵作品の一般公開を行うとともに、11月2日（土）に「10th Anniversary Special Program」と題した10周年記念イベントを開催します。

収蔵作家が集結。スペシャルパフォーマンス&トーク

10周年記念イベントは、MASKの収蔵作家が一堂に会し、今後の作品制作やコラボレーションの可能性について

語るアーティストトークと、10周年を祝うスペシャルパフォーマンスの2部制で実施します。

収蔵作品を舞台にしたスペシャルパフォーマンスは大きく3つに分けて実施。アーティストユニット・正直と黒川岳が、金氏徹平と持田敦子の作品を使用したパフォーマンスを披露し、宇治野宗輝は特別仕様に改造した自身の収蔵作品で、この日だけの特別なビートを奏でます。フィナーレはやなぎみわがプロデュースし、ギターを生演奏のなか、妖艶でアクロバティックなポールダンスとエアリアルティッシュのパフォーマンスで締めくくります。さらに、Dumb Type のメンバーとして舞台作品に関わってきた藤本隆行 (Kinsei R&D) が照明を担当し、一夜限りの祝祭空間を盛り上げます。

MASK10周年をともに祝いに、ぜひご来場ください。

「Open Storage 2024 – 祝う収蔵庫 – MASK 10th Anniversary」

<p>開催概要</p>	<p>会期：2024年10月18日（金）～20日（日）、25日（金）～27日（日）、11月1日（金）～4日（月・休）計10日間 ※11月10日（日）特別開館 時間：12:00～18:00 ※11月2日（土）は15:30～20:00（チケット購入者のみ入場可能） 会場：MASK（MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA）大阪市住之江区北加賀屋5-4-48 入場：無料 ※11月2日（土）を除く</p>
<p>10th Anniversary Special Program</p>	<p>日時：11月2日（土）15:30～20:00（15:00開場） 第1部 アーティストトーク 15:30～17:00 第2部 スペシャルパフォーマンス 17:30～20:00 ※パフォーマンスは19:00頃終了予定 入場料：前売 3,000円、当日 3,500円 ※ワンドリンク付き チケット販売：Peatixより申込下さい https://mask10thanniversaryprogram.peatix.com</p> <p><第1部> トーク出演：宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、持田敦子、やなぎみわ、ヤノベケンジ モデレーター：木ノ下智恵子</p> <p><第2部> #1 出演：黒川岳、正直、Atelier Tuareg、dot architects パフォーマンス監修：金氏徹平、持田敦子 #2 出演：宇治野宗輝、dot architects パフォーマンス監修：宇治野宗輝 #3 出演：サカトモコ、JanMah、MECAV パフォーマンス監修：やなぎみわ</p> <p>音楽：小松千倫、慈母子 照明：藤本隆行（Kinsei R&D） 舞台監督：幸せ工務店 音響：株式会社ソルサウンドサービス モデレーター：木ノ下智恵子</p>  <p>初年度「Open Storage 2014」開催風景</p>
<p>関連プログラム</p>	<p>対話型作品鑑賞プログラム 「アートのヒミツ基地?! みんなで探検ツアー」 日時：10月27日（日） 全3回・各回約45分 ①12:00～ 小学校1年生～3年生向け ②14:00～ 小学校4年生～6年生向け ③16:00～ 中学生から大人向け</p> <p>監修：京都芸術大学 アート・コミュニケーション研究センター 定員：各回10名 ※申込制、無料 申込：Peatixより申込下さい https://openstorage2024-tankentour.peatix.com ※①と②の回は要保護者同伴。本プログラムには子どもたちご本人のみご参加いただけます。ツアー実施中、保護者の方はMASK内を自由にご見学いただけます。</p>  <p>Open Storage 2022 対話型鑑賞プログラム 開催風景</p>
<p>WEBサイト</p>	<p>https://mask.chishima-foundation.com/</p>

Press Release

2024年9月20日

参加作家 (50音順)	宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、名和晃平、持田敦子、やなぎみわ、ヤノベケンジ
主催	一般財団法人 おおさか創造千島財団
企画協力・ キュレーター	木ノ下智恵子 (大阪大学 21世紀懐徳堂 准教授)
広報協力	京都芸術大学 ULTRA FACTORY、MIWA YANAGI OFFICE、Sandwich、ANOMALY 他
会場へのアクセス	Osaka Metro 四つ橋線 「北加賀屋」 駅 4 番出口より徒歩 10 分 ※ JR 新大阪方面からは、Osaka Metro 御堂筋線「大国町」 駅で四つ橋線に乗換 ※ 阪神高速堺線「玉出」 出口より約 5 分 ※ 会場に駐車場はありません／近隣に有料駐車場有



■MASK 参加作家 プロフィール (50音順)



宇治野宗輝 Muneteru Ujino

1964 年東京都生まれ。90 年代よりサウンドスカルプチャーを制作、展示／パフォーマンスを行っている。

2004 年からは、大量消費社会が急速に拡大した 20 世紀以降の「物質世界のリサーチ」を基盤に、楽器、家電製品や自動車、家具、中古レコードなど、日常的な消費者向けの製品と技術を再構成し、近代の文化を再定義するサウンド／スカルプチャー／パフォーマンスの複合プロジェクト「The Rotators」に取り組み、世界各地の展覧会に参加している。



金氏徹平 Teppei Kaneuji

1978 年生まれ、京都在住。美術家・彫刻家。京都市立芸術大学美術学部彫刻科准教授。2003 年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。身のまわりの事物を素材に部分を切り抜き繋ぎ合わせることで、既存の文脈を読み替えるコラージュの手法を用いて作品を制作。横浜美術館 (2009 年)、ユーレンス現代美術センター (北京 2013 年)、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (2016 年) 等で個展を開催、また、国内外の企画展・国際展で作品を発表している。2011 年以降、舞台美術も複数手がけ、近年は舞台作品も制作している。平成 24 年度京都市芸術新人賞、平成 27 年度京都府文化賞奨励賞、平成 30 年第 29 回タカシマヤ文化基金受賞。



久保田弘成 Hironari Kubota

1974 年長野生まれ。武蔵野美術大学大学院修了。土地の歴史や風土を反映させた、自然崇拜的祭礼を原型にし、車や漁船を用いた彫刻やインスタレーション、パフォーマンスを発表。財団法人ポーラ美術振興財団助成金、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランス、ドイツにて活動し、ヨーロッパ各地、アメリカ、メキシコ、中国等で制作発表を行う。昨今は屹立する彫刻的な自然石「根石」(こんせき)を蒐集。2017 年東京 武蔵村山にその集積地である「根石院」を立ち上げている。



名和晃平 Kohei Nawa

彫刻家／Sandwich Inc.代表／京都芸術大学教授

1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。

感覚に接続するインターフェイスとして、彫刻の「表皮」に着目し、セル(細胞・粒)という概念を機軸として彫刻の定義を柔軟に解釈し、鑑賞者に素材の物性がひらかれてくるような知覚体験を生み出してきた。近年では、建築やパフォーマンスのプロジェクトも手がける。2018年にフランス・ルーヴル美術館にて彫刻作品《Throne》を特別展示。2023年、フランス・セーヌ川のセガン島に高さ25mの屋外彫刻作品《Ether (Equality)》を恒久設置。



Photo: Pezhman Zahed

持田敦子 Atsuko Mochida

2018年、東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。同年、バウハウス大学ワイマール大学院修了。2018年から2019年にかけて、平成30年度ポーラ美術振興財団在外研修員としてドイツ、シンガポールにて研修。プライベートとパブリックの境界にゆらぎを与えるように、既存の空間や建物に、壁面や階段などの仮設性と異物感の強い要素を挿入し空間の意味や質を変容させることを得意とする。「Desintegriert Euch!」(Maxim Gorki Theater、3.BERLINER HERBSTSALON、ベルリン(ドイツ)、2017)、「YOUNG TALENT PROGRAMME 2018/19」(Affordable Art Fair、シンガポール、2018)、「日本・キューバ現代美術館『近くへの遠回り』」(Centro de Arte Contemporaneo Wifredo Lam、ハバナ(キューバ)、2018)などに参加、国際的に活躍している。



Photo: 沈昭良

やなぎみわ Miwa Yanagi

美術作家・舞台演出家。神戸生まれ。京都市立芸術大学で工芸を学ぶ。写真作品などで国内外で多くの展覧会を開催し、2009年第53回「ヴェネツィア・ビエンナーレ」美術展日本館代表作家。2011年から演劇活動を開始し、美術館や劇場での公演を行う。2015年に「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」で北米ツアーを実施。2016年より台湾で製造した舞台トレーラーによる野外劇「日輪の翼」(原案：中上健次)で各地を巡業している。2021年、台湾文化局主催による、台湾独自のオペラ、歌仔戯「アフロディーテ～阿婆蘭～」を作演出、衛武营国家芸術文化センターにて上演。美術と舞台の両分野で活動している。



ヤノベケンジ Kenji Yanobe

1965年大阪生まれ。1990年初頭より「サヴァイヴァル」をテーマに機能性のある機械彫刻を制作。1997年チェルノブイリを訪れる《アトムスーツ・プロジェクト》を敢行。2011年震災後、希望の彫刻《サン・チャイルド》を制作し国内外で巡回。2017年より福を運ぶ旅の守り神《SHIP'S CAT》シリーズの制作を開始。2022年に大阪中之島美術館に開館した《SHIP'S CAT (Muse)》(2021)が恒久設置される。美術の起源や存在意義を問い、環境と相互作用をもたらす作品を制作している。

Press Release

2024年9月20日

■キュレーター プロフィール



木ノ下智恵子 Chieko Kinoshita

大阪大学准教授、MASK キュレーター。1971年生まれ、大阪市在住。専門は現代芸術、文化政策、事業プロデュース等。神戸アートビレッジセンター美術プロデューサー、大阪大学 CSCD 等を経て現職。駅のコミュニティスペース「アートエリア B1」、芸術文化施設ネットワーク事業「クリエイティブアイランド中之島」などに従事。他の活動には、NAMURA ART MEETHING 実行委員、恵比寿映像祭オフサイト・キュレーター、岡山芸術交流パブリックプログラムディレクター、札幌文化芸術交流センターSCARTS 事業統括ディレクターなどがある。

■10th Anniversary Special Program 出演者 プロフィール (50音順)



黒川岳 Gaku Kurokawa

1994年鳥根県生まれ。京都府在住。物質や環境と身体との関係に着目し、さまざまな対象に「触れる」(触れようとする)プロセスや結果を出発点に彫刻やパフォーマンス、インスタレーション等の作品を発表している。それは物理的な衝突であったり、やわらかな接触であったり、一切触れ合わずにすれ違うだけだったり、耳を澄ますことだったりする…。2018年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程修了。令和5年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。



サカトモコ Tomoko Saka

桐朋学園大学芸術科・演劇専攻卒業。

在学中パントマイムやダンスなどの身体表現に没頭し舞台出演を経てフィジカルアートの世界へ。2007年渡豪シドニーエアリアルシアターで空中芸を学び翌年国立サーカス学校 National Institute of Circus Art(NICA)にてスウィングトラピーズを専攻し3年間習得。その後VIC州をツアー、フェスやファミリーサーカスの出演経験をし帰国。2011年、木下サーカス入団しエアリアルリング、スパニッシュウェブの演目で日本巡業。2015年からフリーランスとして活動しクロワッサンサーカス、やなぎみわ演出野外劇「日輪の翼」、音楽劇「空中ブランコのりのキキ」等出演。



正直 Shojiki

小林椋 (<https://pocopuu.net>) と 時里充 (<https://tokisato.info>) によるユニット。2016年結成。「できるだけ正直に演奏する」を心がけながら、モーターと養生テープを使用した演奏を行う。近年のパフォーマンスに、「音の慣らし方」(国際芸術センター青森(ACAC), 2021)、「Sound Around 002」(ロームシアター京都, 2022)、「LUFF 2022」(スイス・ローザンヌ, 2022)など。2018年 Basic Function からカセットテープ「KB」をリリース。2019年アルス・エレクトロニカ(オーストリア・リンツ)にて Honorary Mentions 受賞。



Atelier Tuareg

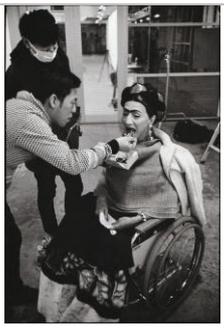
プロダクトから建築物の構造まで、幅広く金物の設計と加工、製作を行う、金属の加工を中心としたアトリエ。真鍮と銅、錫など特殊な金属同士を掛け合わせた加工も行っている。

	<p>dot architects</p> <p>家成俊勝、赤代武志により設立された建築家ユニット。大阪・北加賀屋にて、「もうひとつの社会を实践するための協働スタジオ」コーポ北加賀屋を拠点に活動。設計、施工のプロセスにおいて専門家・非専門家に関わらずさまざまな人との協働を实践している。設計だけに留まらず、現場施工、リサーチプロジェクト、アートプロジェクトなど様々な企画にもかかわる。第15回ヴェネチツァ・ビエンナーレ国際建築展 審査員特別表彰（日本館出展作家）。</p>
	<p>JanMah</p> <p>国内外ジャンルを問わず様々なアーティストと共演。参加作品、やなぎみわ ステージトレイラープロジェクト（野外劇'日輪の翼'他）。 韓国のベーシスト Dong giy のアルバム（台湾、韓国で2023年発売）a method for capsaicinoid analysis（アルバムはベストクロスオーバー&ワールドミュージック賞及、台湾ベストジャズ賞受賞）に参加。</p>
	<p>MECAV</p> <p>ドリーミーでデンジャラス！ 花火のように世界を彩るポールパフォーマー。イベントプロデューサー、バーレスクパフォーマーとしても活動中。国内外で出演。時に芝居やアートプロジェクトなどキャバレーダンサーならではの視点を交えつつ枠にとられる事なく取り組んできた。 2014年～やなぎみわステージトレイラープロジェクトポールダンサー。 デコトラ演劇公演「日輪の翼」ツアー及び、2016～2017 PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭パフォーマンス含む全公演出演。また国内外の大会でファイナリスト、受賞歴もあり。その他ミュージシャンとのツアー公演など幅広く活動中。</p>
<p>■音楽</p>	
	<p>小松千倫 Kazumichi Komatsu</p> <p>1992年高知県生まれ。2022年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程美術専攻構メディア・アート領域修了。音楽家、美術家、DJ。これまでに、angoisse、BUS editions、flau、Manila Institute、psalmus diuersae、REST NOW!等、様々なレーベルやパブリッシャーより複数の名義で膨大な数の音源をリリース。ある情報の伝達や保存における根源的な諸技術のあり方を光や音をもちいて作品制作・研究を行なっている。</p>
	<p>慈母子</p> <p>2019年結成された大阪在住の自炊と oboco による DJ コンビ。音波の中で事故と放浪を繰り返しながら情熱活動中。2023年にDJ実弾とのスワッピング MIX テープをリリース。2024年2月より難波ベアーズにて、毎月最終水曜開催の創造パーティ『慈愛/THE I』を開始。音楽による魂の救済を目指し、永遠に続ける予定。</p>

Press Release

2024年9月20日

■北加賀屋の同時期開催イベント

	<p>Super Studio Kitakagaya 「Open Studio 2024 Autumn」 https://ssk-chishima.info 大阪最大のアーティスト・シェアスタジオがオープンスタジオを開催 会期：2024年10月18日（金）～20日（日）、25日（土）～27日（日）（計6日間）12:00～18:00 会場：Super Studio Kitakagaya（SSK） 入場：無料</p>
	<p>KITAKAGAYA FLEA 2024 AUTUMN & ASIA BOOK MARKET https://kitakagayaflea.jp/ IN/SECTS 主催 ブックマーケットや手しごと市、ライブなど複合的なカルチャーイベントを開催 日時：2024年10月19日（土）12:00～19:00、20日（日）11:00～18:30 会場：クリエイティブセンター大阪 入場：各日700円</p>
	<p>M@M 第10回展「ワタシ」の「他人」、「タニン」の「私」。 https://www.morimura-at-museum.org/ 森村泰昌によるセルフポートレート作品と、他の作家による森村を描いた/撮影した作品を並べて展示する展覧会 会期：2024年11月1日（金）～2025年4月6日（日）の金土日 12:00～18:00 会場：M@M（モリムラ@ミュージアム） 入場：一般・大学生 600円、高校生・中学生 200円、小学生以下 無料</p>
	<p>持田敦子「解体」映像記録 上映会 アートプロジェクト「解体」の映像記録の上映とゲストを招いたトークイベントを開催 日程：2024年11月3日（日）、4日（月・休）14:00～16:00 会場：千島文化ホール 入場：無料 支援:令和6年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業</p>
	<p>すみのえアート・ビート 2024 https://suminoeartbeat.wixsite.com/home ラバー・ダックが登場！住之江・北加賀屋のアートなお祭りを開催 日時：2024年11月10日（日）10:00～16:00 会場：クリエイティブセンター大阪 入場：無料</p>

■MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 概要

	<p>MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 鋼材加工工場・倉庫として使われていた建物をそのまま活用。床面積約 1,030 m² (52.5×19.5m)、高さ 9.25m。事務所跡を改装したホワイトキューブ（展示スペース）と簡易レジデンスを併設。各地の芸術祭などに出展された大型の現代美術作品は、保管場所の確保が難しく、会期終了後に解体や廃棄を余儀なくされるケースが多い。このような状況に一石を投じ、大阪の創造環境の向上に寄与したいとの思いから、おおさか創造千島財団は、大型作品を無償で保管・展示する「MASK」を2012年より運営している。 https://mask.chishima-foundation.com/</p>
--	---